

雲南市第三セクター等の 経営状況を公開します

雲南市には、市が出資または出捐する10の第三セクター等があります。
このうち地方自治法第243条の3第2項による規定により雲南市市議会に報告した、市の出資割合が2分の1以上である6法人の経営状況を公開します。

【問い合わせ先】 株式会社遊学・財団法人鉄の歴史村地域振興事業団（教育委員会生涯学習課 ☎0854-40-1073）
木次都市開発株式会社（政策企画部政策推進課 ☎0854-40-1011）
木次道の駅株式会社・株式会社みとや（産業振興部商工観光課 ☎0854-40-1054）
財団法人三刀屋農業振興センター（産業振興部農林振興課 ☎0854-40-1051）



平成16年度決算状況

当期利益	未処分利益
△58万9千円	11万1千円
売上高	売上高には、委託料2,880万9千円を含む。
7,005万1千円	

株式会社 みとや

平成12年1月7日設立

天然芝サッカー場や野球場、パークゴルフ場等のスポーツ施設、コテージ等宿泊施設を活かしたスポーツ・レクリエーションによる健康づくりや、交流の場の提供を行っています。

- 資本金……………3千万円
- 行政出資……………1千750万円
- 出資割合……………58.3%
- 管理運営する施設
- ・ 明石緑が丘公園



平成16年度決算状況

当期利益	未処分利益
△22万9千円	△20万4千円
売上高	売上高には、委託料8,394万8千円を含む。
9,244万円	

株式会社遊学

平成6年4月1日設立

ピリオネア大学事業等による文化芸術振興や地域の人材育成のほか、スポーツ・レクリエーション事業を通じて、スポーツ振興や健康づくりを行っています。

- 資本金……………3千万円
- 行政出資……………2千400万円
- 出資割合……………80%
- 管理運営する施設
- ・ 加茂文化ホール「ラメール」
- ・ 加茂B&G海洋センター



平成16年度決算状況

収支差額	次期繰越収支差額
△83万9千円	127万4千円
収入	収入には、委託料360万円、補助金1,430万9千円を含む。
2,498万6千円	

財団法人三刀屋農業振興センター

平成10年11月24日設立

ランを中心とする花卉の研究開発や、小菊の栽培指導、山野草、山菜等の特産品開発による農業振興等に取り組んでいます。特にランについては、「みとやの舞」というオリジナル品種を研究開発しています。

- 基本財産……………3千万円
- 行政出捐……………3千万円
- 出捐割合……………100%
- 管理運営する施設
- ・ 三刀屋総合営農指導拠点施設



平成16年度決算状況

当期利益	未処分利益
△402万4千円	247万1千円
売上高	売上高には委託料1億5,706万4千円、補助金740万円を含む。
1億8,080万7千円	

木次都市開発株式会社

平成2年4月2日設立

温泉資源を活かした健康福祉の増進や自主企画文化事業による文化振興、交流の場の提供のほか、市内公共交通機関の市民バスの運行を行っています。

- 資本金……………1千300万円
- 行政出資……………1千120万円
- 出資割合……………86.2%
- 管理運営する施設
- ・ 木次経済文化会館
- 「チェリヴァホール」
- ・ 市民バス
- ・ 健康の森
- ・ 木次健康温泉センター
- 「おろち湯つたり館」



平成16年度決算状況

収支差額	次期繰越収支差額
△266万9千円	100万4千円
収入	収入には、委託料3,352万円、補助金150万円を含む。
4,253万8千円	

財団法人鉄の歴史村地域振興事業団

昭和63年11月16日設立

たたら製鉄文化の保存・公開・継承、伝統文化の保存を目的とした「鉄の歴史村フォラム」の開催や近代たたら試験操業のほか、子どもたちの小だたらでの製鉄などを行っています。

- 基本財産……………6千万円
- 行政出捐……………3千万円
- 出捐割合……………50%
- 管理運営する施設
- ・ 鉄の歴史博物館、鉄の未来科学館、山内生活伝承館
- ・ オープンエアームジウム



平成16年度決算状況

当期利益	未処分利益
583万2千円	651万6千円
売上高	売上高には、委託料119万7千円を含む。
2億817万1千円	

木次道の駅株式会社

平成13年4月5日設立

国道54号を利用する方々への交流・休憩の場の提供や、地域情報の発信のほか、地元産の農産物や特産品の販売を行っています。

- 資本金……………2千万円
- 行政出資……………1千20万円
- 出資割合……………51%
- 管理運営する施設
- ・ 道の駅「さくらの里さすき」

第三セクターは、行政目的を達成するための手段として設立・運営されるものですが、市民のニーズや社会情勢に対応した役割や事業実施が求められます。
そこで現在、雲南市では、今後の出資法人のあり方の基本方向を定めるマネジメントの基本方針を定め、今回経営状況をお知らせした6法人を含めた出資法人の見直しに取り組んでいます。
詳細な見直し内容については、今後、市報うんなんなどでお知らせしていきます。

用語説明

【第三セクター】 国・地方公共団体と市民・事業者などが、お金を出し合い、設立される事業体。行政部門の第一セクター（公共セクター）と民間部門の第二セクター（民間セクター）の両者で行うことから第三セクターといわれます。

【当期利益】 純利益・当期純利益とも呼ばれ、ある会計年度内で最終的に法人に残るお金。ここでは平成16年度内（平成16年4月1日～平成17年3月31日）の売上額のことです。

【未処分利益】 当期末処分利益のことであり、前期までの累積赤字・黒字に当期利益を加減したものです。

例えば前期決算時に100万円の累積赤字があり、当期利益で120万円黒字が出た場合、未処分利益は20万円となり、これを翌年に繰り越します。

【出捐とは】 自己の財産を減少させることにより、他の財産を増加させることです。

財団法人設立のため、一定の財産（金品）を提供する「寄附」はこれにあたります。